土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

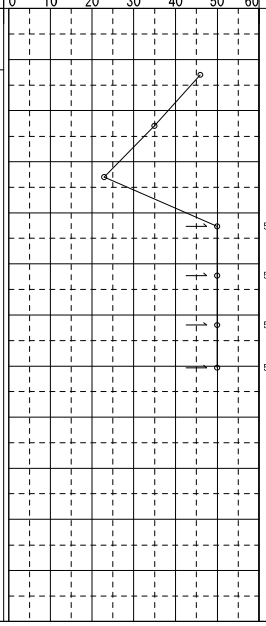
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.5-西ノ谷川補助基準点1	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 09.3308″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 6月14日～ 令和3年 6月15日	東経	132° 33′ 15.3334″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 148.50m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0 / エンジン：ヤンマーNS110 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	147.60	0.90		礫混じり砂		暗褐	rd4		中～粗砂を主体とする 径1cm以下の礫を20～30%混入する 部分的に粗砂が主体となる	6/17 L=20
2	146.00	2.50		玉石混り砂		暗褐灰			L=10cm程度で採取する玉石が混在する 砂は粗砂を主体とする 風化礫が混入する	
3	144.80	3.70		礫混じり砂		暗褐灰			砂は中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～40%混入する 部分的に礫の混入量が多くなる	
4	144.00	4.50		玉石・礫混じり砂		暗褐灰			径7cm以下の礫を30～40%混入する L=10cm 程度で採取する玉石が混在する GL-4.15mの標準貫入試験は玉石に当る	
5				花崗岩		黄褐			DM級岩盤	
6						灰褐			風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変質、変色している 長石類は白濁化している 部分的に径1cm程度の礫状で採取するが指圧で砕ける	
7	141.50	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
46	1.15	6	18	22	46/300		
	1.45						
35	2.15	9	11	15	35/300		
	2.45						
23	3.15	7	8	8	23/300		
	3.45						
50以上	4.15	14	28	8/30	50/230	230	
	4.38						
50以上	5.15	29	21/60		50/160	160	
	5.31						
50以上	6.15	50			50/100	100	
	6.25						
50以上	7.00	50			50/60	60	
	7.06	60			60		

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				6/14
				6/15